


【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	御坊市家庭教育支援チーム (呼称:ハッピーママライフ「HML」) URL: http://jimotoryoku.jp/hml/
活動開始年度	平成21年度
活動拠点	御坊市内全域
活動範囲	御坊市内全域、近隣市町村
活動財源	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(地域における家庭教育支援総合推進事業) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(先駆的家庭教育支援推進事業) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名) <input checked="" type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ()
組織体制	13人 子育てサポーター2人、教員3人、人権擁護委員3人、 CAP スペシャリスト 10人 (重複あり)
具体的な活動内容	<input checked="" type="checkbox"/> 講座型 <input type="checkbox"/> 拠点型 <input type="checkbox"/> 訪問型 <input type="checkbox"/> 総合型 <input type="checkbox"/> その他() ① CAP(子供への暴力防止)ワークショップの提供 御坊市内や近隣市町村の小学生や保護者、教員を対象にCAPワークショップを提供する。  ② グループ内研修会や練習会の開催 ・CAPワークショップ実施のための練習会は随時開催する。 ・研修会やCAPスペシャリスト資格更新のための講習会を年1回実施する。

	③ ミーティングの開催 月1回行う。
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートに調査によると、教員からは CAP ワークショップを実施することによって、人権や暴力を予防するためのスキルと知識を、子供に分かりやすく伝えることができるようになったという一定の評価が得られている。 ・子供たちの感想からは、「安心できた」、「自信が持てるようになった」という意見が多くあり、CAP ワークショップに参加したことにより、子供の自尊心が高められることが実証されている。
活動において苦労した点や課題	<ul style="list-style-type: none"> ・CAP 子どもワークショップは主に小学校のクラス単位で実施しているが、校長が変わるとワークショップの依頼が途切れたり、復活したりすること。 ・大人対象の CAP ワークショップを提供する場が少ないこと。
今後の活動目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で CAP ワークショップを提供し、子供への暴力のない社会を目指す。
問合せ先	<p>(部署・氏名)HML 事務局・竿本 有紀</p> <p>(E-mail) info@happy-mama-life.com</p>